

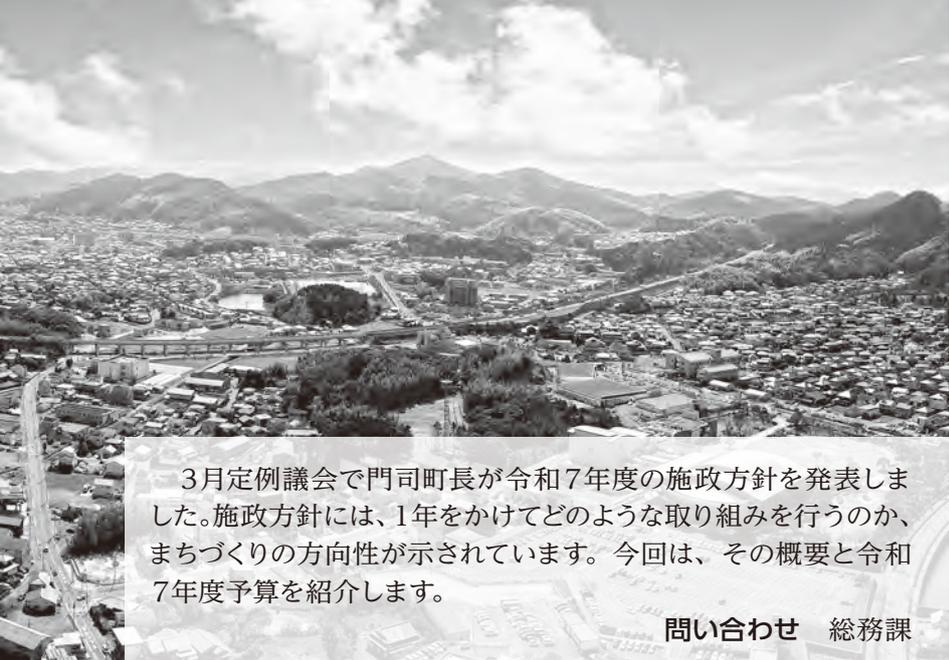


「自然と共生する

しあわせ実感都市 岡垣」の実現に向けて

「数十年先の岡垣町を見据えた取り組み」と

「今暮らしている住民の幸福度を高める取り組み」を進めるために



3月定例議会で門司町長が令和7年度の施政方針を発表しました。施政方針には、1年をかけてどのような取り組みを行うのか、まちづくりの方向性が示されています。今回は、その概要と令和7年度予算を紹介します。

問い合わせ 総務課

はじめに

昨年10月に開催された「マイナビツール・ド・九州2024福岡ステージ」では、住民や事業者の皆さまのご理解とご協力のおかげで、多くの方にご来場いただき、大会を成功させることができました。改めて心より感謝を申し上げます。

また、昨年12月には民間企業による「街の幸福度ランキング&住み続けたい街ランキング」が発表され、3年連続で高評価を頂きました。これを、住民の皆さまとともに進めてきたまちづくりに対する一つの評価と受け止め、これからも岡垣らしい幸せを感じてもらえるよう住み続けたいと思ってもらえるようなまちづくりを進めていきます。

令和7年度のまちづくり

2期目となる町政運営も、社会

情勢などの変化に適切に対応しながら、「数十年先の岡垣町を見据えて今やらなければならない取り組み」と、「今暮らしている住民の皆さまの幸福度を高める取り組み」を同時に進め、第6次総合計画に掲げる目指すまちの将来像「自然と共生する しあわせ実感都市 岡垣」の実現に向けたまちづくりを継続して取り組みます。

【災害に強いまちづくりと公共施設の老朽化対策】

昨年元日に地震に見舞われた能登半島では、9月の記録的な大雨で、復旧途上にあつた被災地に再び甚大な被害が発生しました。こうした複合災害は、今後、発生頻度が高まっていくことが懸念されます。総合的な防災対策の推進が必要で、また、高度成長期以降、集中的に整備された橋梁、道路、上下水道などのインフラの老朽化

も大きな社会課題となっているため、国の対策などを活用して公共施設の整備を行います。

具体的には、令和7年度に実施を予定していた小中学校体育館の空調設備の導入や吉木小学校特別教室棟改修は、国の補正予算による補助金などを最大限に活用するため、前倒しで着手します。令和7年度当初予算では、総合グラウンドの照明LED化や総合グラウンドと町民体育館のトイレ改修、岡垣サンリーアイ施設の長寿命化のための改修、役場庁舎トイレの改修、山田小学校外壁・屋上防水改修などを行います。これらの事業を実施するため、町債の発行予定額は前年度を大幅に上回る見込みですが、災害に強いまちづくりの推進やインフラの充実、適切な維持・更新を進めるため、積極的な予算編成を行いました。



【まちづくり】に欠かせない交通インフラの維持

昨年2月に国道3号岡垣バイパスが4車線化・フルランプ化されました。現在も、県道原・海老津線バイパスと県道岡垣・宗像線バイパスの整備など、岡垣町の道路交通網を築くための取り組みが進んでいます。また、JR九州の3月15日のダイヤ改正以降、全ての快速列車が海老津駅に停車することで、鉄道の利便性の向上が期待されます。一方、10月からは西鉄バス松ヶ台循環線が廃止になるため、同路線をコミュニティバスで運行し、住民生活やまちづくりに欠かせない交通インフラを維持します。

【交通安全対策の強化】

インフラの充実とともに重要なのが安全対策です。昨年、小中学校の児童生徒が巻き込まれた交通事故が発生し、交通安全対策の重要性を改めて痛感しました。これまで、通学路安全確保の取り組みとして、教育委員会や道路管理者、警察、PTAなどが連携して交通安全施設の合同点検などを行い、老朽化した施設の更新や新たな整備を行ってきました。令和7年度も、国の補助金を活用し、要望などに基づく必要な工事の予算を計上しています。その他、小中学校の児童生徒の保護者や地域住民が設置を求めている国道3号岡垣バイパス東交差点の横断歩道橋の新

設に向けて、現在、議会と協力し国に要望を行っています。



【水道水の安全確保の徹底】

芦屋基地に近接する糠塚水源井戸で、PFOS・PFOAが検出されました。水道水の安全確保を徹底するとともに、芦屋基地や九州防衛局に原因究明などを求める要望活動を行うなど、引き続き、適切かつ迅速に対応します。また、適宜適切な情報発信に努め、生活への影響や不安を解消するための井戸の水質検査の補助を行います。

【平和を願う取り組み】

世界では、ウクライナやガザ地区で今も戦火が続いています。我が国は、本年、戦後80年の節目の年を迎えます。岡垣町では未来を担う子どもたちに核兵器と戦争の悲惨さを伝え、命の尊さや平和について考える機会として、継続的な平和事業に取り組んできました。令和7年度は岡垣サンリーアイでイベントを行います。このイベントが多くくの住民の皆さまが平

和について考える機会になればと考えています。

【将来を見据えたまちづくり】

令和5年12月に国立社会保障・人口問題研究所から公表された「日本の地域別将来推計人口」で、2050年には岡垣町の人口が2万5千人余りになると推計されました。令和7年度は、住民アンケート調査などにより、第6次総合計画の中間評価を行い、人口減少への対応と、評価の結果も踏まえたまちづくりを進めます。

数十年先の岡垣町を見据え、今やらなければならない取り組みとして昨年誘致した屋内スイミング施設が、5月に開設される予定です。小中学校の水泳の授業を同施設で行うことで、天候に左右されない、専門性の高い授業が期待されるほか、教職員の負担軽減や財政面でも効果があると考えています。その他、令和7年度は、JR海老津駅周辺の整備や学校施設の適正配置の検討、公共施設等総合管理計画の改訂作業を進めます。

施政方針について
 詳しくは、町公式ホームページへ





令和7年度の

まちづくり

令和7年度の新たな施策や重点的に取り組む施策を第6次総合計画の基本目標に沿って、紹介します。

2 地域資源を活かし発展するまち

- ため池、水路などの
農業用施設の維持管理 ————— 4,212 万円
- 緩衝林の整備などの有害鳥獣対策 — 2,808 万円
- 漁業の振興 ————— 545 万円
- 商工会への支援 ————— 1,562 万円
- 観光の推進 ————— 4,933 万円
- 農業の振興に向けた新たな支援 — 559 万円
など

4 誰もが元気で自分らしく暮らせるまち

- 健康づくりの推進 ————— 3,833 万円
- 高齢者福祉の増進 ————— 9,601 万円
- 障がい福祉事業 ————— 13 億 9,364 万円
- 介護保険事業 ————— 7 億 3,177 万円
- 感染症予防 ————— 1 億 1,767 万円
- 核兵器廃絶平和の町宣言に関する
イベント開催 ————— 195 万円
など

6 計画推進の基盤

- 地域コミュニティ活動への支援 — 3,560 万円
- システムの標準化など
自治体 DX の推進 ————— 1 億 7,510 万円
- 公共施設等総合管理計画改訂 — 1,247 万円
- 電子入札システム導入 ————— 531 万円
など

1 自然を守り、活かし交流を生むまち

- 三里松原の保全活動への支援 ——— 495 万円
- 環境啓発・人材育成事業 ————— 165 万円
- 井戸の水質検査の補助 ————— 125 万円
など

3 人・つながりが育つまち

- 保育サービスの提供 ————— 10 億 4,512 万円
- 学童保育所の運営 ————— 7,676 万円
- こども未来館の運営 ————— 3,636 万円
- 英語教育の充実 ————— 1,534 万円
- 学校適応指導教室の運営 ————— 296 万円
- 小中学校への ICT 支援員の配置 — 1,434 万円
- 岡垣サンリーアイの運営 ——— 2 億 4,760 万円
- 学校施設適正配置の検討 ————— 1,748 万円
- 総合グラウンド照明
LED 化工事 ————— 1 億 4,960 万円
- 体育施設トイレ改修工事 ————— 4,200 万円
- 岡垣中学校体育館空調工事 ——— 2,263 万円
- ※その他の小中学校は
令和6年度補正予算に計上 — 4 億 737 万円
- 山田小学校外壁屋上防水工事 — 1 億 7,670 万円
- 民間スイミング施設での
小中学校の水泳授業の実施 ——— 2,344 万円
- 岡垣サンリーアイ施設改修工事 — 4,184 万円
など

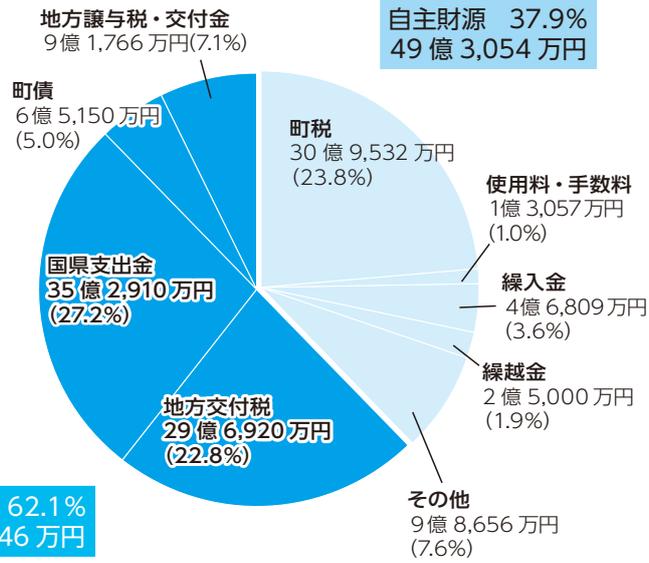
5 安全・快適に暮らせる持続可能なまち

- 道路橋梁の補修や更新 ————— 2 億 4,687 万円
- JR 海老津駅周辺の整備事業 — 1 億 6,879 万円
- コミュニティバス・
乗合タクシーの運行など ——— 9,207 万円
- 自主防災組織への
支援などの災害対策 ————— 1,108 万円
- 防犯灯の設置や
老朽化した柱の更新など ——— 1,304 万円
- 防犯カメラの設置補助や
青パト購入などの防犯対策 ——— 538 万円
など



【前年度からの主な増減】

町税 国の定額減税の影響などにより1億 8,825 万円 (6.5%) 増加。
地方交付税 国の交付額の計画などを踏まえ、1億 1,693 万円 (4.1%) 増加。
国庫支出金 行政システム標準化への対応や新規保育所の開所により、2億 3,226 万円 (11.3%) 増加。
繰入金・町債 基金からの繰入金は1億 7,256 万円 (26.9%) 減少、町債は2億 9,545 万円 (83.0%) 増加。



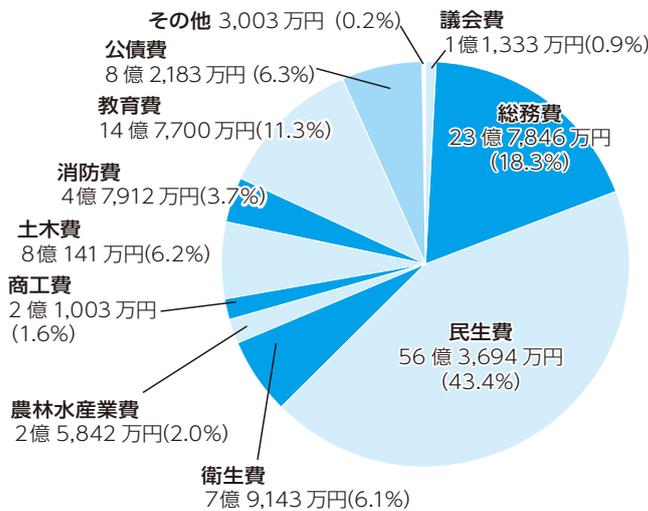
依存財源 62.1%
80億 6,746万円

歳入

一般会計予算は129億9800万円

前年度予算から
7億 500 万円 (5.7%) 増加

歳出



【前年度からの主な増減】

民生費 社会保障費の増加により2億 2,262 万円 (4.1%) 増加。
教育費 小中学校給食費の公会計化や大規模工事の実施などにより4億 7,306 万円 (47.1%) 増加。

令和7年度
当初予算

詳しくは、町公式ホームページへ



その他の会計

会計名	予算額
国民健康保険事業	31億 9,794万円
後期高齢者医療	7億 4,702万円

	会計名	予算額
水道事業	収益的収入	6億 3,933万円
	収益的支出	5億 9,998万円
	資本的収入	2億 2,026万円
	資本的支出	4億 8,005万円
下水道事業	収益的収入	8億 7,352万円
	収益的支出	8億 8,291万円
	資本的収入	3億 5,407万円
	資本的支出	6億 2,768万円